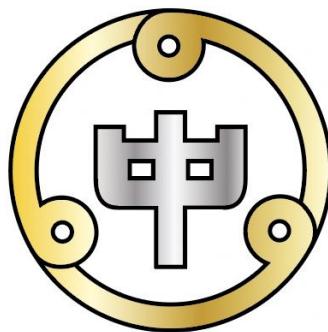


令和5年度

「運営に関する計画・自己評価(最終評価)
及び「学校関係者評価報告書」



大阪市立喜連中学校
令和6年2月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

本校では部活動の活性化と生徒の自主的活動を中心とした規範意識の向上を目指し、学校を中心として保護者・地域・PTAの協力のもと取り組みを進めてきている。その結果、現在では安定した学校活動が行われている。今後はこの状態をもとにして表面に表れにくい「いじめ」や遅刻・不登校の問題に力を入れていきたい。また、学力面においても、従来より取り組んでいる学力向上対策をさらに推進し、たしかな学力の育成を目指さなければならないが、「人間尊重の精神を基盤にした教育」を見失わないように最大の努力をしなければならない。これらの課題をクリアするためには、家庭、地域さらには小学校や関係諸機関とのより密接な連携・協力が不可欠である。

中期目標**【安全・安心な教育の推進】**

- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 85%以上にする。
- ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」割合を 80%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 85%以上にする。
- ・年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。
- ・年度末の生徒アンケートにおける「手洗いやうがいをしっかりとし、健康に気をつけている」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・デジタル教材を活用した朝学習を週 1 回実施し、学習者用端末を活用して生徒アンケート等を実施する。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を昨年度より増加させる。

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

全市共通目標（小・中学校）

- ・年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。
(R4年度…92%)
- ・年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。
- ・年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。

学校園の年度目標

- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。(R4年度…88%)
- ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。
(R4年度…94%)
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。(R4年度…80%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

全市共通目標（小・中学校）

- ・年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を20%以上にする。(R4年度…19%)
- ・中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。
- ・大阪市英語力調査におけるC E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学3年生の割合（4技能）を40%以上にする。(R4年度…35%)
- ・年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。(R4年度…56%)

学校園の年度目標

- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。(R4年度…89%)
- ・今年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。(R4年度…92%)

【学びを支える教育環境の充実】

全市共通目標（小・中学校）

- ・デジタル教材を活用した朝学習を週1回実施する。
- ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準1を満たす教員の割合を35%以上にする。(R3年度…26.2%、R4年度…34.1%)

学校園の年度目標

- ・学習者用端末を活用した学習、生徒アンケート等を実施する。

3 本年度の自己評価結果の総括

【安全・安心な教育の推進】について

- 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合は、1年 86%、2年 84%、3年 82%で目標値には届かなかったが、肯定的な回答は全体の 95.7%であった。
- 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率は前年度より 2%増加している。
- △年度末の校内調査において、前年度不登校生徒数はほぼ横ばいで改善まではいたっていない。学校行事やテストをきっかけとして登校が定着するよう今後も働きかけていく。
- △年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は、1年 91%、2年 79%、3年 80%で全体として 83%であった。
- ◎年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は、1年 93%、2年 94%、3年 90%で目標値を大きく上回った。
- 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は、83%であった。

【未来を切り拓くための学力・体力の向上】について

- ◎年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合は、1、2年 33%、3年は 30%で目標値を大きく上回った。
- △中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対府比は、同一母集団において経年的に比較し、3年では国語で 4 ポイント減少し、数学では 8 ポイント上昇した。
- △大阪市英語力調査における C E F R A 1 レベル相当以上の英語力を有する中学 3 年生の割合（4 技能）は 38.1%であり、40%には届かなかったが昨年度より 3.1%向上した。
- △年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合は、1年 54%、2年 43%、3年 55%で前年度並みであった。
- 年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は、1年 96%、2年 87%、3年 90%で目標値を上回った。
- 今年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合は、1年 94%、2年 90%、3年 91%で目標値を達成した。

【学びを支える教育環境の充実】について

- デジタル教材を活用した朝学習を 1 年では週 3 回、2、3 年では週 1 回実施できた。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合は、35.71% であった。
- 学習者用端末を活用した学習は各教科で行われ、4 月から 10 月までの平均使用率が 56.9% で、課題配付や課題提出状況の把握も行うことができた。生徒アンケートの「先生はタブレットやプロジェクターを使って教え方を工夫している」の項目で、肯定的回答が 1 年 97%、2 年 96%、3 年 97% であった。
- また、「学校生活アンケート」「習熟度別授業に関するアンケート」「学力向上支援チーム事業アンケート」について、Microsoft Forms を活用して実施することができた。

大阪市立喜連中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した C：取り組んだが目標を達成できなかった	B：目標どおりに達成した D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった
---	--

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標（小・中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を90%以上にする。（R4年度…92%）R5年度…84% 年度末の校内調査において、不登校生徒の在籍比率を前年度より減少させる。 年度末の校内調査において、前年度不登校生徒の改善の割合を増加させる。 <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。（R4年度…88%）R5年度…83% 年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。（R4年度…94%）R5年度…92.3% 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。（R4年度…80%）R5年度…83% 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安全で安心な教育環境の実現】</p> <p>学校力アップ事業を通じて、落ち着きのある授業支援等を行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 各学期にいじめアンケート調査を実施し、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に向けて教職員の連携を密にする。 年度末の保護者アンケートにおける「子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。 <p>取組内容②【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「あいさつ運動」を推進する。 「時間を守り規則正しい生活を心がける」「学校のルールやマナーを守る」の2点について、家庭と連携しながら全教職員で指導する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、社会のルールを守る規範意識や基本的生活習慣が身につくよう指導している」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。 <p>*上記の事柄を全校集会、学年集会、様々な行事において指導・推進する。</p>	B

取組内容③【(2) 豊かな心の育成】

- ・規範意識や仲間意識が向上する学校行事を実施する。
- ・生徒一人ひとりが、互いの人権を尊重し合える教育を推進する。

指標

- ・年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。
- ・年度末の生徒アンケートにおける「相談できる友だちがいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。
- ・様々な分野からゲストティーチャーを招き、人権感覚を磨く取り組みを実施する。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

△取組内容①については、学力向上コラボレーターや学びサポーターの活用で、各学年、落ち着いて授業が受けられる体制となっている。各学期に一人一台端末を利用し、いじめアンケート調査を実施し、いじめ・不登校の早期発見・早期対応に努めた。年度末の保護者アンケートにおける「子どもは、学校へ行くのが楽しいと言っている」の項目について、肯定的な回答は 83% であった。

○取組内容②については、正門での登校時のあいさつ指導や、全校集会、学年集会でのマナーやルールについての講話や指導で気持ち良いあいさつができる生徒が増加している。年度末の生徒アンケートにおける「あいさつをきちんとしている」の項目について、肯定的な回答の割合は、89.1% であった。

学校のルールやマナーを守る取組みでは生徒会活動や各学年での指導、携帯電話や SNS の利用や薬物乱用防止についての外部講師による講話などを行った。校外活動においてもルールやマナーを意識して行動できるようにした。年度末の保護者アンケートにおける「学校は、社会のルールを守る規範意識や基本的生活習慣が身につくよう指導している」の項目について、肯定的な回答は 87.3% であった。

○取組内容③については、宿泊行事や体育大会、文化祭のほか、各学年での取組みにおいてもお互いを尊重するよう取り組んでおり、年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」および「相談できる友だちがいる」の項目について肯定的な回答は 91.6%、87.7% でいずれも目標値を上回った。

次年度への改善点

- ・学力向上コラボレーターや学びサポーターの活用し、各教科の授業において「わかる」授業のための校内研究を活性化することで、生徒の自尊感情を向上させたい。そのためにいじめ・不登校の早期発見・早期対応は今後も重視して取り組みたい。
- ・生徒会を中心としたあいさつ運動は、年間を通して行われた。生徒が自発的に行うあいさつも増えており、学校への来客に対しても気持ちよいあいさつが行われるよう継続して取り組みたい。コロナ禍を経て、様々な学校行事や生徒の活動が再開される中、社会のルールを守る規範意識や基本的生活習慣が身につくよう働きかける必要がある。
- ・学校行事や学年行事に取組むために、仲間づくりやチームビルドの意識は今後も必要であり、グループや小集団で意見を出し合い、より良い取組みに自分たちができるということを経験させたい。

(様式2)

大阪市立喜連中学校 令和5年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標（中学校）</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の校内調査における「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を20%以上にする。（R4年度…19%） R5年度…1年33%、2年33%、3年30% 中学校チャレンジテストにおける国語および数学の平均点の対応比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より1ポイント向上させる。 R5年度…3年 大阪市英語力調査におけるC E F R A1レベル相当以上の英語力を有する中学生3年生の割合（4技能）を40%以上にする。（R4年度…35%） R5年度…38.1% 年度末の校内調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する生徒の割合を60%以上にする。（R4年度…56%） R5年度…1年54%、2年43%、3年55% <p>学校の年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。（R4年度…89%） R5年度…1年96%、2年87%、3年90% 年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を85%以上にする。（R4年度…92%） R5年度…92% 	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学びコーディネーター事業と学校元気アップ事業を効率的に活用し、自学自習の場を確保する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 放課後に学習機会の場を設け、学習に参加する生徒の数を前年度より増加させる。 	B
<p>取組内容②【基本的な方向4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業をすることを推進する。 基礎基本の定着を図るため、効果的な授業形態を確立する。 <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 年度末の生徒アンケートにおける「先生はチームティーチングの授業など、教え方を工夫してくれる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの能力や努力を適正かつ公平に評価している」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする。 	B

取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】

- ・体育の授業や部活動において基礎体力の向上を目指す運動を推進する。
- ・熱中症等予防講習会等を開き、体調管理を自分で行えるようになるよう推進する。
- ・新型コロナウイルス感染症を教訓とし、うがい、手洗い等の励行を推進する。

指標

- ・生徒の体力、運動能力向上のための取り組みを行う。
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保や事故防止に努めている」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を80%以上にする
- ・「食育つうしん」「ほけんだより」を毎月1回発行し、健康に対する関心を高めさせる。

B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

- △取組内容①については、学びコーディネーター事業と学校元気アップ事業を活用し、放課後の自習教室の取組みを長期休業中や定期テスト前だけでなく毎月定期的に実施した。英検や漢検も実施することで自主学習に対するきっかけになった。
- 取組内容②では、各教科でペアワークやグループワーク、一人一台端末の活用など主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を行っている。主体的に取組む態度の評価については全教員で外部講師を招いて研修会をもち、理解を深めた。年度末の生徒アンケートにおける「先生はチームティーチングの授業など、教え方を工夫してくれる」、保護者アンケートにおける「学校は、子どもの能力や努力を適正かつ公平に評価している」の項目について肯定的に回答した割合は、それぞれ87%、87.9%で目標値を上回った。
- ◎取組内容③は、体育の授業や部活動の開始時に基礎体力向上のための運動を実施した。感染症拡大防止のため啓発活動や新型コロナが5類移行後も手洗いやうがいの励行を行った。年度末の保護者アンケートにおける「学校は、子どもの安全確保や事故防止に努めている」の項目について肯定的な回答の割合は、92.5%であった。「食育つうしん」「ほけんだより」も毎月1回発行できている。

次年度への改善点

- ・取組内容①については大学生による学びサポーターなど、生徒が質問しやすい人材の確保が難しい。「学校元気アップ自主学習会」に参加したいと思っている生徒は生徒アンケートより22%にとどまっており、学習事項の定着のためにも自主学習できる場所は継続して確保しつつ、学習に対して積極的に取り組めるよう授業研究も行う必要がある。
- ・全教員が必ず年1回は行う研究授業において、一人一台端末等を活用し生徒が主体的に取り組む授業について相互参観することで、新しい指導方法の発見や生徒の自主学習の拡大につなげたい。
- ・体育の授業や体育大会などの体育的行事を通じて、運動やスポーツの好きな生徒は増加している。
しかし、運動能力や運動習慣は「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」においても優れているとまでは至っていない。運動やスポーツへの興味を持ち続けることで生涯スポーツとして健康・安全面での意識向上に努めたい。感染症だけでなく、食の安全性や健康の重要性についても意識させたい。

(様式 2)

大阪市立喜連中学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標（中学校） ・デジタル教材を活用した朝学習を週 1 回実施する。 ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 35%以上にする。(R3 年度…26.2%、R4 年度…34.1%) R5 年度…35.7% 学校の年度目標 ・学習者用端末を活用した学習、生徒アンケート等を実施する。	B

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向 6 教育 DX の推進】 ・ICT 機器を使用した授業など、時代のニーズに応じたテーマで設定された校内授業を行う。 指標・ICT 機器を使用した研究授業を行う。	B
取組内容②【基本的な方向 6 教育 DX の推進】 ・ICT 機器を活用した教育推進のための環境を整備し、昨年度より活用する。 指標・デジタル教材を活用した朝学習、生徒アンケート等を実施する。	B
取組内容③【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ・教職員の働き方改革を具体的に進める。 指標 ・「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合を 35%以上にする。	B

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
△取組内容①については、ICT 機器を活用した授業が各教科で実施されており、プレゼンテーション教材も数多く作られ、授業配信においても活用をはじめている。
○取組内容②については、各学年の朝学習や、学期ごとのいじめアンケート、年度末の生徒アンケートなど、一人一台端末を活用することで結果集計の負担軽減をはかった。
○教職員の健康保持のため長時間勤務にならないよう、定期テストや実力テストにおいて自動採点をいちはやく導入し、活用する教職員も多い。「学校園における働き方改革推進プラン」に掲げる教員の勤務時間に関する基準 1 を満たす教員の割合は 35.7% であった。

次年度への改善点

- ・実際の写真や動画、図表も提示できるため授業用PCで作成した教材をプロジェクターで投影し、生徒に興味・関心を持たせる授業は、各教科で取り組まれている。今後は、一人一台端末等を活用し、グループでの学習や個別学習の方法なども研究を進めていく。
- ・生徒のSOSをいち早くとらえるツールとして、また生徒の意識調査としての生徒アンケートの集約を容易にするためにも、一人一台端末を活用できるスキルを多くの教員が身につける必要がある。
- ・職員会議や安全衛生委員会を通じて、今後も教職員の超過勤務の減少に努めていく必要があるが、コロナ禍を経て学校活動が次々に再開され業務が増加する中、学校行事や運営方法の見直しにより、教職員の働き方についても注視する必要がある。

令和 5 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立喜連中学校 学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は概ね妥当である。生徒アンケートや保護者アンケート、検証資料の結果から、学校の特色（強みや弱み）を再確認することができた。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：【安全・安心な教育の推進】

- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 85%以上にする。
- ・年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。
- ・年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の割合を 80%以上にする。

年度目標：【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、肯定的な回答の割合を 85%以上にする。
- ・今年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、肯定的な回答の割合を 85%以上にする。

年度目標：【学びを支える教育環境の充実】

- ・学習者用端末を活用した学習、生徒アンケート等を実施する。

【安全・安心な教育の推進】

- 年度末の生徒アンケートにおける「学校へ行くのが楽しい」の項目について、肯定的な回答の割合は、2、3年は目標値に届かなかったが、1年は 91%となり全体としても 83%に達している。
- 年度末の生徒アンケートにおける「先生は、私たちの話を聞いてくれる」の項目について、肯定的な回答の割合は、各学年とも 90%を超え、目標値を上回った。
- 年度末の保護者アンケートにおける「学校は、いじめのない学校づくりに取り組んでいる」の項目について肯定的な回答の割合は、83%で目標に達することができた。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 年度末の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」の項目について、「そう思う」と肯定的な回答の割合は、各学年とも目標値を上回り、1、3年は 90%を超えており、2年は 85%を上回っている。
- 今年度末の生徒アンケートにおける「文化祭や体育大会、宿泊行事は楽しみである」の項目について、肯定的な回答の割合は、各学年とも 90%を上回り、目標値を達成した。

【学びを支える教育環境の充実】

- 学習者用端末を活用した学習は各教科で行われ、生徒アンケートの「先生はタブレットやプロジェクターを使って教え方を工夫している」の項目で、肯定的回答が各学年とも 90%を上回った。
- また、生徒に対する各種アンケートも Microsoft Forms を活用して実施することができた。

3 今後の学校園の運営についての意見

コロナ禍を経て、学校行事や学力向上にむけての取組みは一定評価できる。今後も学校の課題である学力向上やいじめを許さない学校づくりなど継続して取り組んでほしい。不登校対策についても学校・地域・区役所が連携を強化し、改善に向けて尽力してほしい。